

笹川スポーツ財団

SASAKAWA SPORTS FOUNDATION

SPORT FOR
everyone
one

一人ひとりのスポーツライフを豊かにするために、
スポーツ振興に必要な情報の収集・分析・発信、政策提言を行います。

Sport for Everyone社会の実現



調査・研究

● 科学的な研究

国内外のスポーツに関する情報収集および調査分析を行い、科学的に研究する機関として重要な位置を占める

● 多様な社会的価値を追求

スポーツの持つ多様な社会的価値を追求するとともに、先進的な知見の普及および情報共有の拠点となる

実践・連携

● 社会課題の解決

社会課題の解決にスポーツの価値が生かされるモデルを開発し提供するとともに、協働・実践の中核となる

● 「する・みる・ささえる」 環境の充実

スポーツ振興を目的とする諸機関と連携して、スポーツを「する・みる・ささえる」環境の充実を図る推進役となる

スポーツ政策研究所

笹川スポーツ財団は、スポーツ振興の現場に基づく研究調査を行っています。

活動内容

○ 研究調査

7つのテーマの各種データ収集や研究活動の拡充

- 地域活性化
- スポーツと健康の保持・増進
- 子どものスポーツ
- スポーツガバナンス
- 障害者スポーツ
- スポーツボランティア
- スポーツ人材

○ 研究奨励・人材育成

笹川スポーツ研究助成

- 人文・社会科学領域の研究活動の支援

Sport Policy for Japan

- 所属大学の枠を超え政策提言を持ち寄り、意見交換する場

○ 自治体との連携

チャレンジデー実施自治体や、スポーツ振興に熱心な自治体とともにスポーツ政策の在り方を考える

未来に夢を描き、行動するシンクタンクへ



笹川スポーツ財団の研究事例

スポーツライフ・データ

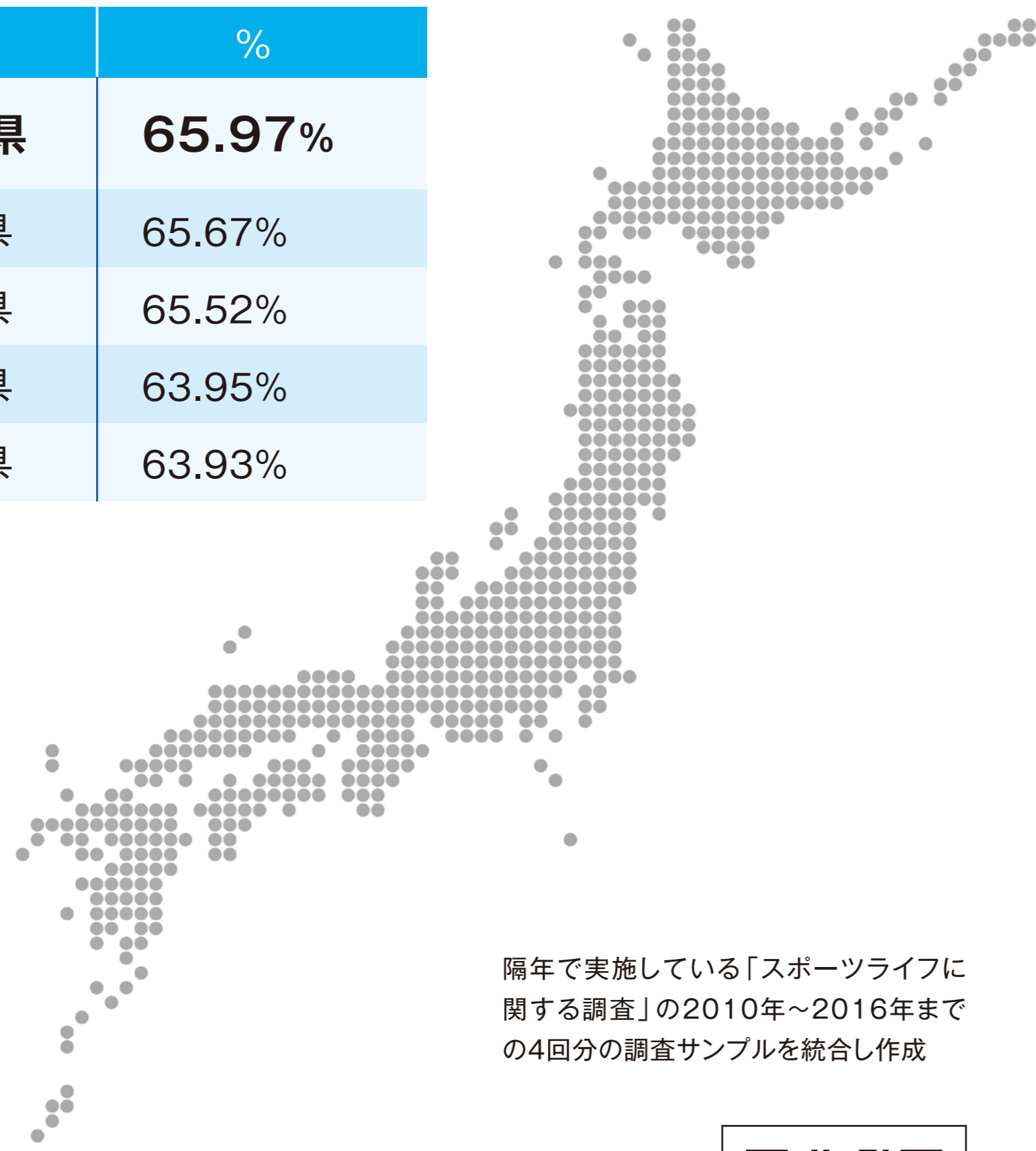
国民のスポーツライフの実態把握を定期的に行う
「スポーツ活動に関する全国調査」

各都道府県の運動・スポーツ実施状況

都道府県別の運動・スポーツ実施率や人気の種目など

週1回以上の運動・スポーツ実施率

順位	県	%
1位	静岡県	65.97%
2位	長野県	65.67%
3位	島根県	65.52%
4位	新潟県	63.95%
5位	千葉県	63.93%



隔年で実施している「スポーツライフに関する調査」の2010年～2016年までの4回分の調査サンプルを統合し作成

各都道府県の運動・スポーツ実施状況はこちら

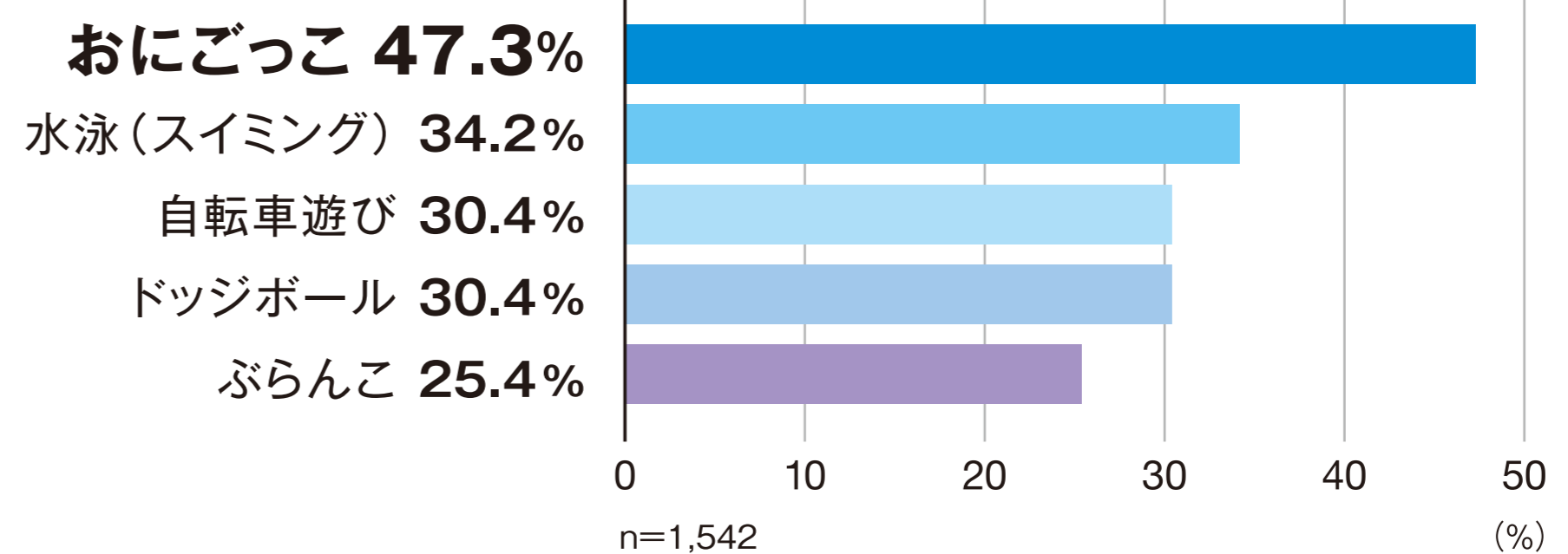


4～21歳の運動・スポーツ実施種目

過去1年間に「よく行った」運動・スポーツ種目

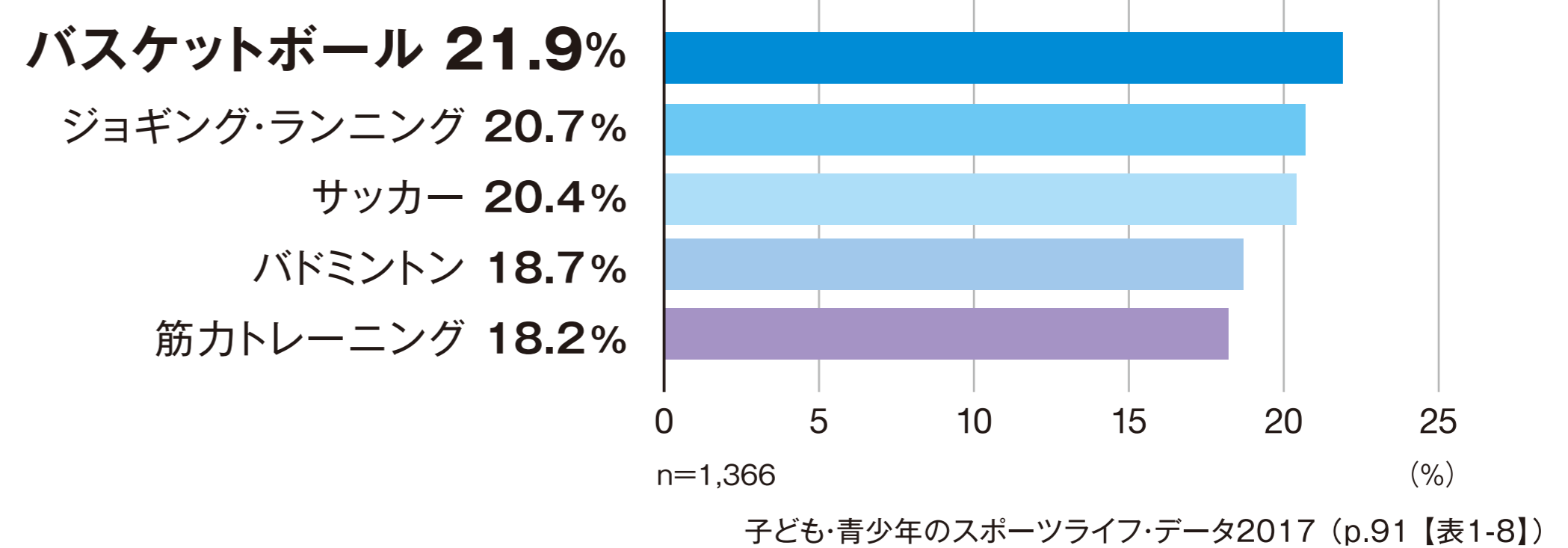
●4歳～11歳

運動・遊び系が上位を占める



●12歳～21歳

球技などのスポーツ系が上位を占める



子ども・青少年の運動・スポーツ実施状況はこちら



研究調査

7つをテーマに掲げ、各種データの収集や研究活動の拡充に努めています。

自治体との連携

住民総参加型スポーツイベント

スポーツで元気なまちづくり **チャレンジデー**



330万人
が参加!

毎年5月の最終水曜日に開催される人口規模がほぼ同じ自治体間で、15分以上継続して運動やスポーツを行った住民の数(参加率%)を競います

2019年5月29日(水)開催

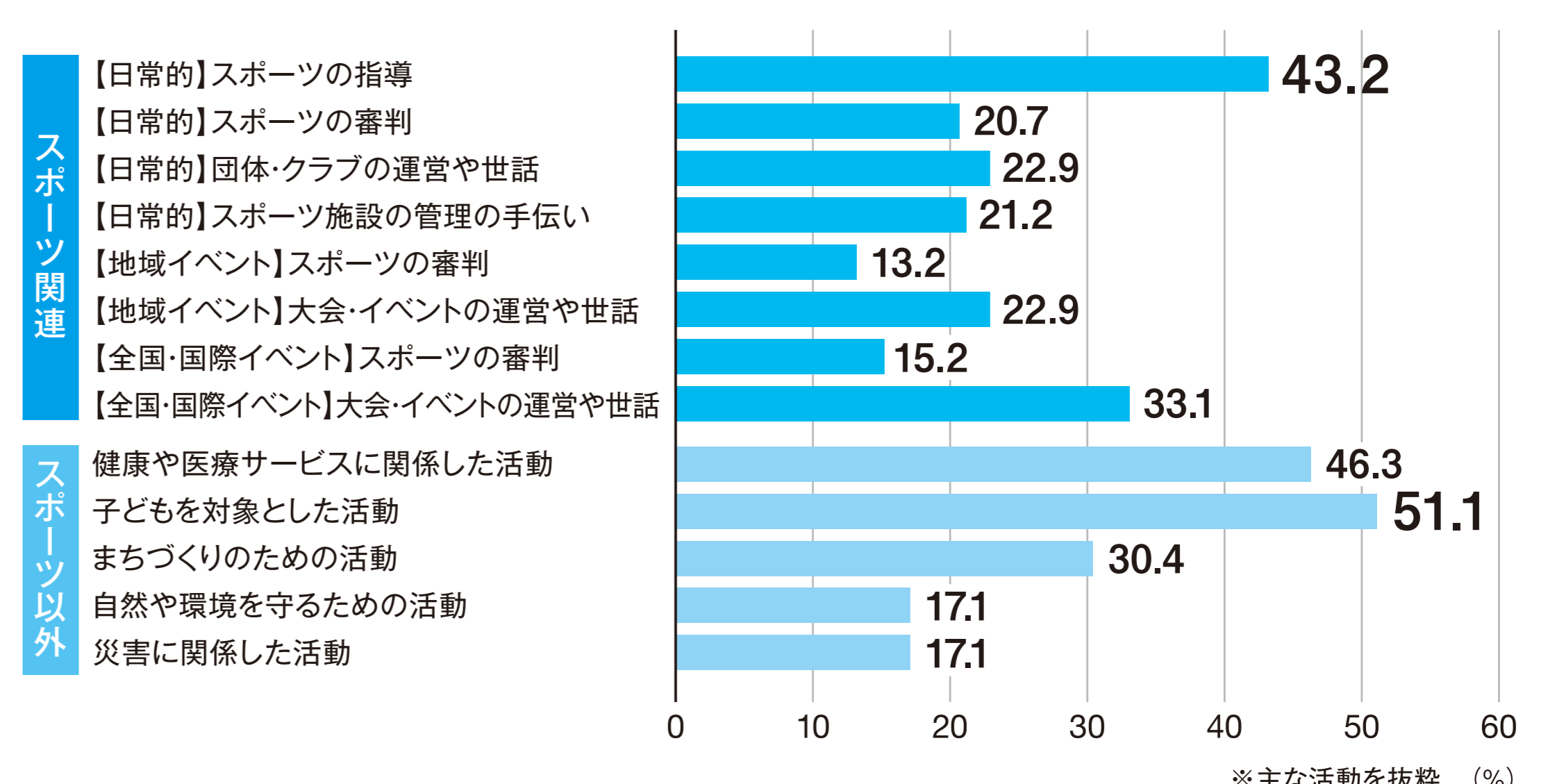
チャレンジデー2019はこちら



スポーツボランティア

成人のボランティア実施状況

ボランティアをするきっかけとなった活動



ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピックを控える中での、スポーツボランティアの実施状況。スポーツボランティアのきっかけとなった活動で、最も多いのは、【日常的な活動】スポーツの指導(43.2%)

スポーツボランティアに関する調査2018はこちら

